

2022年6月

2021年度
「決算報告書」

(2021年4月1日～2022年3月31日)

(添 付)

☆「計算書類」

- ・「貸借対照表総括表」
- ・「正味財産増減計算書」
- ・「収支計算書総括表」
- ・「財産目録」
- ・「附属明細書」
- ・「財務諸表に対する注記」

☆「監査報告書」

公益財団法人
全労連会館

「2021年度決算報告書」

「公益財団法人の財政管理」として、収入・支出とも「公益事業会計」「共収益事業会計」「法人会計」の3区分で予算を立て、同じ区分で決算をしています。

1 収入の部

①「会費収入」「賃貸料収入」「貸車庫・倉庫収入」は予算通りの収入となっています。

②「会議室収入」は、コロナ禍の中で緊急事態宣言の解除に伴い会議室利用件数も伸びを見せ、予算を大きく上回りました。

③「教育事業収入」、「印刷事業収入」も同様に予算を上回りました。

④「雑収入」は、自販機の売上マージンなどですが、こちらも予算を上回りました。

⑤ これらにより、今期の収入総額は、予算より5,326,683円多い

93,468,363円となりました。

2 支出の部

昨年に引き続きコロナ禍の中でしたが、財政活動の持続性維持に努めてきました。その執行状況は別紙の通りです。

①「**管理費支出**」＝ 会館の維持管理にかかわる諸支出については、節約を心掛けて運営を行ないました。

人件費と役員報酬、雑給（派遣者等の給与）とも、予算内執行となっています。

法定福利費、諸会費、旅費交通費、新聞図書費、会議費、中退金掛金、は予算内執行となっています。福利厚生費は職員のコロナウイルス感染防止の為医療用検査などで予算超過となりました。

②「**事業活動支出**」＝ 公益事業、共収益事業に関する諸支出費も極力節約を心掛けながら、オンライン会議等への対応で通信環境や器具の整備を進めた事、全熱交換機更

新工事関連費用により一部予算を超過したのもありました。

渉外費、水道光熱費、備品・事務用品費、事務費、修繕費、会館警備費、施設清掃費、保険料、雑費は予算内に抑え、通信費、消耗品費、施設維持費、は予算超過しました。

租税公課は13,150,340円と、前年度より177,850円増え予算超過となりました。

固定資産除却損 343,041 円は電力量計（2011/6 月取得）の帳簿残高除去分です。

特定資産増減の 458 円は、特定資産の預金受取利息額で、特定資産の預金利息は特定資産を増加させる一方、受取利息総額 9,262 円に含まれて収支計算書に計上しているため、流動資産から特定資産へ受取利息相当を「支出」した形式でズレを解消しています

③「特別支出」

㊦ 固定資産（備品）は、サーマルカメラ（704,000円）。

固定資産（資産取得）は、電力量計、計器用変圧器、トイレ自動水栓化工事。

㊧ 退職引当預金は、予算どおり 250,000円を預金しました。年度末の退職積立預金は、1,422,889円（利息10円含む）となっています。

㊨ 会館建設から20年目となり、予算通り5,000,000円の修繕引当積立を行いました。**修繕積立預金**の前年度末での残高は 38,983,343円となっておりましたが、今年度支出5,557,585円、今年度積立5,000,000円と預金利息375円をプラスして、修繕積立預金の年度末残高は38,426,133円となりました。

㊩ 会館付属設備・機器更新の為、**資産取得預金**を24,000,000円積立て、利息分41円を加えて当年度合計53,600,041円となります。

④ 未払い消費税は、1,003,700円となりました。

消費税は中間納付額765,000円でしたが、確定税額分は1,768,700円となりました。

⑤ 今期の**経常支出総額**は、**76,535,324円**となり、事業外収益9,157,585円、事業外支出33,311,073円（資産取得資金含む）、法人税等433,100円を含めて、当期**収支差額**は、**-7,653,549円**となりました。この結果、前期繰越金 35,289,031円と合計し、**次期繰越金**は、27,635,482円となります。

3 「減価償却費」について

今期減価償却の処理は下記の通りです。

	今期計上額	累積計上額	除却資産の累計額
前年度迄の累計		429,678,312円	
今年度減価償却額	17,203,484円	446,185,337円	696,459円

4 「貸借対照表」「財務諸表に対する注記」「附属明細書」「財産目録」

(別 紙)

5 「監事監査報告」 (別 紙)

(以 上)